

On the Appointment of Extraordinary Diplomatic Advisers to the  
Foreign Office.

Imperial Ordinance No. 632 of sept. 9, 1938.

Less than three diplomatic advisers to the Ministry of Foreign Affairs may extraordinarily be appointed so that they may participate in diplomatic service relating to the China Incident.

The diplomatic advisers shall be appointed from among those who have attained a special proficiency in diplomacy.

The diplomatic advisers shall be rated as "shin-nin" officials (TN Imperial appointees) Supplement: This ordinance shall be in force as from the date of promulgation.

外務省記録 宣統帝復辟 及皇族ノ勳爵勳級勳

門 A 類 6 項 1 日 1 號 6

亞細亞（自署）第一課甲（自署）

密密第四四一號

密込名 宣統帝

大正十五年九月十四日

在天津 忽頤等 有 田 八 郎 印

外務大臣男爵 岩原 春重郎 謹

辰有為トノ會談並領報告ノ件

辰有為ハ九月七日本官ヲ來訪シ宣統皇帝ニ對スル日本側ノ厚意ヲ察シ時  
局ニ對スル本官ノ意見ヲ求メタルニ付此ノ機會ニ復辟ニ關スル同氏ノ眞  
意ヲ確ムルト同時ニ意見ノ交換ヲ爲シ捷クコト適當ナリト信ジ九月十日  
改メテ官邸ニ招待シ食事ノ前後ニ守備余ニ亘リ會談シタリ

辰氏談話要領左ノ如シ  
「文部ノ現狀ハ混亂ニ混亂ヲ重ネ民並以來之日無ク廣東ノ如キハ二百

數々種ノ惡税ヲ設シ十數年後迄ノ税金ヲ搾取シ居ルガ如キ有様ニシテ  
 人民怨嗟ノ聲ハ殊ニ甚シキモノ有リ、廣東ニアラストモ支那ノ各地ニ  
 於テハ先づ同様ノ有様ニシテ厄一度内地ニ到レハ人民ハ殆ド凡テ満室  
 ヲ恩義シ居レリ支那ハ共和トナレリト云フモ吾人ハ之レヲ認メス人民  
 ヲ衰世亂ノ帝政ニ反對シタルハ市政ニ反對シタルニアラスシテ度ノ帝  
 タルニ反對シタル迄ナリ革命以外支那ニ動搖舊エサルハ遷都ニヨリテ  
 主權者ノ地位ニ立チタル爲メ人首真地位ヲ奪ムトシテ在華フモノナリ  
 支那ニハ君主制過スルヲ以テ復辟ニ便リテ平和ヲ招來シウハシ人等ハ  
 共和ハ世界ノ大勢ナリト云フモ決シテ然ラス此間嘸ハ真誠情ニヨリテ  
 決セラルヘキモノナリ現ニ英國公使「マクレー」葡萄牙、和蘭ノ兩公  
 使等モ皆テ自分ヲ上層ニ訪ヒタル際支那ハ君主制ニ復帰スルコト自然  
 ナリト語リ葡葡公使ハ同國ノ君主國ヨリ共和國ニ變シタルモソレ以來  
 ノ等亂過ヘスト述懲シタル支那軍閥ノ態度如何トイフニ孫傳芳ノミハ  
 真態度ヲ明カニセサルモ張作霖、吳佩孚、張宗昌ノ如キ何レモ復辟ニ  
 賛成ニシテ宣統帝ニ對シ張作霖ハ十萬弗吳佩孚ハ二萬弗ト云フカ如ク

獻金ヲ爲シタリ彼等カ宣統帝ニ謁見スルトキハ今以テ叩頭ノ禮ヲ以テシ  
 又竊カニ帝ノ寫眞ヲ拜領シ之レニ應洋スルカ如キ有機ニシテ其意ノ存ス  
 ルトコロハ間ハスシテ明白ナリ尤モ復辟ヲ可トストイフモ其時機ニツイ  
 テハ最モ眞重ナルヲ要スルコトハ勿論ニシテ一、二宣闈ニ利用セラルル  
 力如キコトハ極力之ヲ避ケサル可カラス自分ハ眞闈ノ心事ヲ看破スルタ  
 ケノ明アルコトヲ自信スルモノナル刀故ニ決シテ刺用セラルルカ如キコ  
 トハナシ、時期トシテハ南方ノ平靜ニナリタル後マデ待タサルヘカラサ  
 ルカ蔣介石ニ對スル反對ハ廣東ニ於テモ予想外ニ甚シケレハ彼ニシテ武  
 漢ニ一放スレハ再ヒ立ツ能ハサルハク右ノ如キ時代ニ立至レハ北万軍閥  
 ハ自然ニ宣統帝ヲ擁戴スルニ一派スルハ疑ナキトコロト言ス此時ハ即チ  
 復辟ノ時期ナリ、宣統帝カ身ヲ以テ逃レタル折ハ日本公使館ニシテ更ニ  
 現ニ保護ヲ受ケ居ルハ天皇日本祖界ナルコトハ何事ヲ語ルヤトイフニ東  
 洋人同士ノ親ミニ悉クモノト云ハサルハカラサルモ、此日本ノ保護ヲ受  
 ケ居ル宣統帝方他日復位スルトセハ日支兩國ノ關係如何ナルヘキヤハ言  
 フヲ俟タサルトコロナルハク之ヲ思フトキ自分ハ非常ナル愉快ヲ感スル

モノナリ上述ノ自分ノ所懷ハ外務大臣、北京公使其他日本要路ノ方々ニ  
ハ是非傳達ヲ希望スルトコロナリ云々」

前記庚氏ノ所說ハ本官ノ陳述セル私見（六月三日附機密第二六五號報告  
鄭孝胥氏ニ對シテ爲シタルト同謀ノモノ）ニ對シ反覆的ニ其所懷ヲ述ヘ  
タルセノナルカ康氏ハ本官ノ力說シタル「宣統帝將來ノ奉瀋ノ爲メニハ  
復辟ハ極メテ危險ニシテ一時成功スルコト有リトスルモ誰カ其永續ヲ保

障シ「シヤ清宣ノ福臣ハ宣シク浮ノ永久ノ平和幸福ノ爲メニ努力スヘキ  
モノナルヘシ」トノ點ニツキテハ懲ト避ケテ言及セス單ニ支那ハ帝制ナ  
ラサルヘカラス又近キ將來ニ於テ眞時期來ルモノト信ストノミ述ヘ居タ  
リ

尙十一日ノ當地大公報（國聞通信網紙ノ經營セルモノ）ハ別紙一號譯文  
ノ如キ駄説ヲ掲ケ又同日ノ漢文タイムス（黎元洪派）ハ別紙二號譯文ノ  
如キ記事ヲ掲ケタリ御参考迄

本信寫送付先 在支公吏 上海總領事